

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン土呂町1丁目 新築	階数	地上8F
建設地	さいたま市北区土呂町1丁目26番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年1月18日
敷地面積	1,242 m ²	作成者	DAN総合設計
建築面積	851 m ²	確認日	2018年1月18日
延床面積	4,686 m ²	確認者	DAN総合設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	本建物は、土呂駅に程近い場所に計画された1集合住宅である。歩道上空地を設けるなど、地域へのアメニティ向上にも配慮した計画となっている。	その他 0
Q1 室内環境	・ 住戸の開閉部の遮音等級はT-2等級とし、室内の音環境に配慮する。 ・ 全面的にF★★★★の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	・ 適切な断熱を行い、建物外皮の熱負荷抑制に配慮する。 ・ 効率のよい潜熱回収型の給湯器を採用することで、省エネルギーに配慮する。	Q3 室外環境(敷地内)
		・ 限られた敷地内に出来る限り緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。 ・ 歩道上空地を設け、地域のアメニティ向上に配慮する。
		LR3 敷地外環境
		・ 限られた敷地内に出来る限り緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される